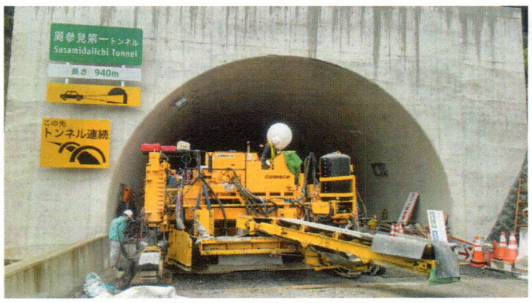
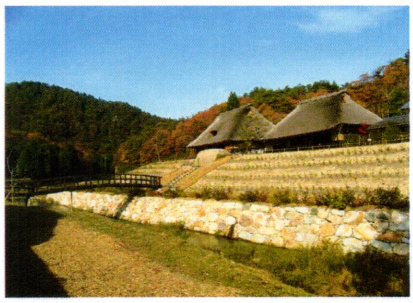
環境活動レポート

対象期間【2014.5.1～2015.4.30】





平成27（2015）年 7月31日

滋賀県甲賀市信楽町畑５１９番地１

近江道路土木株式会社

ごあいさつ

弊社は、1982（昭和57）年5月14日、現在の本社所在地・甲賀市信楽町畑に設立いたしました。爾来、公共事業を通して地域の社会資本を整備し、官公庁や民間のお客様に満足してもらえるよう心がけております。

昨今の弊社を取り巻く経済環境は大変厳しさを増しており、建設業界の再編や市町村合併が進み、当地域では平成16年10月1日に旧甲賀郡の5町が甲賀市、同じく2町が湖南市にそれぞれ合併しました。このような中、平成17年8月21日に、弊社と湖南市に本店のある昭和アスコン工事株式会社が対等合併し、今日に至っております。

弊社が従前から行ってきた「土木工事」と、昭和アスコン工事株式会社が専門に事業展開していた「道路工事」との、お互いの長所が相乗効果を発揮することにより、真に価値のある社会資本の充実、地域環境の整備につとめていきたいと考えております。

平成２７（２０１５）年７月３１日

滋賀県甲賀市信楽町畑５１９番地1
近江道路土木株式会社
代表取締役　　山　元　正　史

当社の経営理念

当社は、高品質の土木工事施工により、顧客の満足と信頼、社会からの高い評価を獲得します。

表紙の写真の説明

上段の右側：滋賀県「思川河川改良工事」H26施工

上段の左側：甲賀市「市道松尾・山幹線舗装工事」H25施工

下段の右側：㈲秀明ナチュラルファーム「秀明自然農法しがらきの里第2期工事（石積工事）」H17施工

下段の左側：㈱昭建「近畿自動車道紀勢線　周参見第一トンネル他コンクリート舗装工事」H27施工

1　会社概要（認証・登録範囲）

本社所在地	滋賀県甲賀市信楽町畑５１９番地1（〒529-1813）
商号	近江道路土木株式会社
代表者	代表取締役　山元　正史
環境管理責任者	環境管理責任者　松島　義幸
連絡先	本社　：　TEL:0748-82-2793　FAX.0748-82-3139 E-mail：o-mi@mx.biwa.ne.jp 本社部門　　部門長　増田　晋一 石部営業所部門　部門長　舟瀬　昌和
営業所	石部営業所　：　滋賀県湖南市石部北二丁目2番19号 TEL:0748-77-2161　FAX.0748-77-2610
事業内容	土木工事、舗装工事、下水工事
決算日	毎年4月30日
事業の規模	年間売上高　437百万円（平成27年4月決算） 従業員数　　20人（平成27年7月31日現在） 本社社屋延床面積　126㎡ 本社倉庫延床面積　325㎡ 本社敷地面積　1500㎡ 石部営業所建物延床面積　128㎡ 石部営業所倉庫延床面積　150.1㎡ 石部営業所重機置場面積　212.8㎡
登録・資格	建設業　滋賀県知事許可　特定建設業　第30642号 土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、ほ装工事、 しゅんせつ工事、水道施設工事（平成27年7月31日現在） ISO9001：2000認証　　ＣＩ/2605
資本金	60百千円（平成27年7月現在）
沿革	1982年(昭和57年)5月14日　創業、設立、商号「近江林業土木株式会社」 2005年(平成17年)8月21日　昭和ｱｽｺﾝ工事株式会社と対等合併 2007年(平成19年)6月29日　商号変更「近江道路土木株式会社」 現在に至る

2　環境方針

近江道路土木株式会社
環　境　方　針

環境理念

当社は、地球環境の保全を経営の重要課題の一つと認識し、全ての事業活動を通じ、環境への影響に配慮し、持続的な発展が可能な循環型社会の構築に貢献します。

活動方針

当社は、甲賀・湖南地域を中心に主に土木・舗装工事業を行なう中で、環境理念に基づき地球規模での環境への影響を理解し、全従業員でエコアクション２１環境経営システムを構築運用し、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

１．環境関連法規制を遵守し、環境汚染防止を推進します。

２．環境影響を軽減するため、環境目標を定め、次の活動を実施します。
これらは、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

- 現場施工において、環境に配慮した機械の使用、工法に取り組みます。
- 地球温暖化防止のため、省エネ推進と重機車両等社有車の省燃費に取り組みます。
- 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより、建設リサイクルを推進します。
- 省資源に努め、会社で使用する水を削減します。
- 資機材・製品等のグリーン調達を推進します。
- 化学物質の使用量を把握し、適正使用の管理に取り組みます。
- 地域環境保全のためサイト周辺県道・市道の美化活動を推進します。
- 季節に即したクールビズ・ウォームビズを推進します。

３．この環境方針は教育や日常活動を通じて全従業員に周知します。

平成２７（２０１５）年6月２６日

滋賀県甲賀市信楽町畑５１９番地1
近江道路土木株式会社
代表取締役　山　元　正　史

3　環境目標とその実績

当社では2006年12月より環境活動に取り組んでいます。

今回で3ヶ年を計画期間として、第3計画期間に入りました。第31期までの実績を自己チェック等により把握し、第31期実績を基準として第32期（2013.5.1～2014.4.30）から第34期（2015.5.1～2016.4.30）までの活動目標を下記の通り設定して引き続き取り組み進行管理することといたします。

なお、このレポートでは第33期の運用実績について取りまとめました。

項目		年度 / 単位	第31期（実績）	第32期（実績）	第33期（目標）	第33期（実績）	第34期（目標）	摘要
二酸化炭素排出量	電力	%			-2.0%	**0.4%**	-3.0%	
		消費量	36403.5	41106.7	35675.5	36544.9	35311.3	事務所
		($kg-CO_2$)	19002.6	21457.7	18622.6	19076.4	18432.5	
		施工高比(%)				-15.1%		
		施工高対消費量	98.39	62.27	96.42	83.49		
		施工高(百万円)	369.987	660.132	369.987	437.726		
	化石燃料	%			-2.0%	**-13.8%**	-3.0%	
		消費量	56281.3	64994.0	55156.0	48491.7	54592.7	建設現場
		($kg-CO_2$)	138787.9	162296.6	136012.1	119293.0	134624.3	
		施工高比(%)				-27.2%		
		施工高対消費量	152.12	98.46	149.08	110.78		
		施工高(百万円)	369.987	660.132	369.987	437.726		
	全体	%			-2.0%	-12.3%	-3.0%	
		($kg-CO_2$)	157790.5	183754.3	154634.7	138369.4	153056.8	
	重機車両等社有車の省燃費	向上目標燃費			0.1	0.3	0.2	
		km/l		10.6	10.7	10.9	10.8	32期対比
		達成%				1.9%		
廃棄物排出量	一般廃棄物	%			**±0%**	**-30.4%**	分別の実施と現状維持	事務所
		(t/年)	0.967	0.714	0.967	0.673		
		施工高比(%)				-41.2%		
		施工高対消費量	0.0026140	0.0010820	0.0026140	0.0015370		
		施工高(百万円)	369.987	660.132	369.987	437.726		
	産業廃棄物	%				**-24.4%**	建設混合廃棄物の把握	建設現場
		(t/年)	3639.65	4588.21	3639.65	2752.90		
		施工高比(%)				-36.1%		
		施工高対消費量	9.8372380	6.9504430	9.8372380	6.2890940		
		施工高(百万円)	369.987	660.132	369.987	437.726		
	全体	%				**-24.4%**		
		(t/年)	3640.62	4588.92	3640.62	2753.57		
	建設混合廃棄物の把握と削減	%			-1.0%	-46.0%	-2.0%	
		(t/年)		17.57	17.40	9.49	17.21	32期対比
		※上記の内数						
総排水量	水使用量	%			-2.0%	**-45.9%**	-3.0%	
		(m^3/年)	316.0	203.0	309.7	171.0	306.6	事務所
		施工高比(%)				-54.1%		
		施工高対消費量	0.85	0.31	0.84	0.39		
		施工高(百万円)	369.987	660.132	369.987	437.726		
建設工事の環境配慮	環境配慮施工の取組み	(実現場数×目標種別数)	64	68	60	60		
		達成%				100.0%	5種別	建設現場
グリーン調達	エコ商品	%	91.0%	84.6%	95.0%	89.3%	100.0%	事務所
		達成%				94.0%		
化学物質使用量	化学物質の把握、管理	(目標回数)	2	2	2	3	年間2回	建設現場
		達成%				150.0%		
地域環境保全活動	ｻｲﾄ周辺地域の美化活動	(目標回数)	21	19	16	19	年間16回	事務所
		達成%				118.8%		
その他	ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ	(目標%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	事務所
		達成%				100.0%		

1 電力使用量及び燃料使用量は、総量で管理します（排出係数0.522ｋｇ-CO2/kWh）。

2 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び設計指定数量以外の産業廃棄物に対しての排出量で管理します。

3 水使用量については、主に事務所、倉庫、資材置き場での水使用量の削減について実施します。

4 建設工事の環境配慮については、小額工事を除く現場施工において、環境に配慮した低騒音型や排出ガス対応型の建設機械の積極的な使用をはじめリサイクル資材等の取組数を管理します。

5 グリーン調達の推進は、総購入数のうちに占めるエコ商品数の割合で管理します。

6 化学物質使用量は、常時使用することはないと考えられますが、やむを得ず使用（購入）する場合を想定して、点検回数で管理します。

7 地域保全活動として、サイト周辺の県道を原則毎月第２金曜日に、および市道を３ヶ月毎に県道と併せてそれぞれ美化活動を行ないます。

8 季節に即したクールビズ・ウォームビズについては、月間環境活動実施チェックシートにて定期的に取組姿勢を観察管理します。

4 主要な環境活動計画の内容

項　目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量	電力	① 不用時の消灯 ② OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 （夏季　28℃±1℃、冬季　20℃±1℃）
	化石燃料	① 不要積載物の有無 ② タイヤ空気圧の確認 ③ 暖機運転・アイドリングストップの実施 ④ ストーブの温度管理 ⑤ 重機車両等社有車燃費の向上
廃棄物排出量	一般廃棄物	① 使用済みコピー用紙を再利用する。 ② 発生する廃棄物を甲賀市ルール （自治体分別収集配付資料）に準じ適正に分別する。 ③ 分別された廃棄物の３R推進活動を展開する。 （廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。）
	産業廃棄物	① 無駄な資機材を購入しない。 ② 分別された廃棄物の３R推進活動を展開する。 （残余資材のリユース・リサイクルを徹底する。） ③建設混合廃棄物の把握と分別と削減
総排水量	水使用量	① 給水ポンプにメーターを取り付け水使用量を把握する。 ② 水洗トイレの水使用量を減らす。 ③ 水を流しながらの洗い物はしない。
建設工事の環境配慮	環境配慮施工の取り組み	① 環境に配慮した機械の使用 ② 環境に配慮した工法の実施 ③ 環境に配慮した材料の使用 ④ その他
グリーン調達	エコ商品	① 生活用品のエコ商品購入 ② 事務用品のエコ商品購入 ③ 資機材等のエコ商品購入
化学物質使用量	化学物質	① 化学物質含有製品の有害性の把握 ② 化学物質含有製品の適正使用の管理
地域環境保全活動	サイト周辺地域の美化活動の実施	サイト周辺の県道並びに市道の美化活動を行う。
その他	クールビズ・ウォームビズ	① ノーネクタイ ② カーディガンやベストの着用

5 環境活動の取組結果の評価及び次年度の取組内容 2014年5月～2015年4月

項　目		評価及び次年度の取組内容
二酸化炭素排出量	電力	夏の暑さの厳しさの程度は年によっては少しずつ異なますが、傾向として年間通して気温は上昇傾向にありました。さて、当期においては工事量が前年比34%減となり、原単位比較すると排出度合は比較的低くなりました。当期で現場事務所を必要とした建設工事は1件だけであり、消費量は全体的に減りました。工事受注条件に左右されるのは建設業の宿命であり、この傾向は繰り返すものと考えられます。また、定期的・継続的に環境活動実施管理月報や社有車運転月報などを義務付けることで、日常的に従業員の節電や重機車両を含む社有車燃費向上等エコドライブに取り組む意識付けに重点を置き、その成果が現れつつあり、今後も持続的に継続しようと考えております。
	化石燃料	
廃棄物排出量	一般廃棄物	一般廃棄物については事務所では分別を徹底し、用紙の裏紙利用など意識的に減量に努め成果が出つつあり、この調子で現状維持します。一方、工事現場では年間を通して元請工事に恵まれませんでしたので、量としては産業廃棄物が比較的少なくなりました。公共工事の厳しい市場環境の中で、産業廃棄物の適正処理に重点を置き、産業廃棄物の分別はじめ建設混合廃棄物の把握、建設リサイクルの推進等に取り組んでいます。
	産業廃棄物	
総排水量	水使用量	過去、冬場に本社事務所の水道管凍結破損が相次ぎましたが、当期はそのような漏水は少なく排水量が減りました。点検をこまめに行い、その上で節水よびかけを徹底するようにします。
建設工事の環境配慮	環境配慮施工の取り組み	環境に配慮した機械の使用、工法の実施、材料の使用など特記仕様書通り忠実に施工することこそ最も大切であるという原点から評価しています。当期は舗装工事1件のみの評価を行い、ほぼ目標並みの実績が出ました。
グリーン調達	エコ商品	グリーン調達法に適合する対象に購入に取り組んでおり、日常的に使用する事務用品を中心に成果が出はじめたので、継続して切り替えていきたいです。
化学物質使用量	化学物質	当社の現在携わっている事業には通常使用しませんが、簡易なライン工をする場合や重機の塗装に使用する材料を一部保管しており、購入業者から提供された取扱説明書を傍に設置するとと共に、化学物質含有製品の有害性を把握し、定期的に適正使用の管理を行っております。
地域環境保全活動	サイト周辺地域の美化活動の実施	県道は毎月1回、市道は３ヶ月に1回を目標に清掃美化活動を引き続き継続的に実施しています。
その他	クールビズ・ウォームビズ	クールビズ・ウォームビズの考え方が社内で定着しており、更に実施期間を延長し積極的に今後とも継続して推進します。

[代表者による全体評価]

当期の我が国は、自民党政権の安定した政権運営の下、アベノミクス効果や株高、円安、原油安が後押しし、輸出企業の業績回復などにより一部景気回復の兆しが見られました。建設業界では、東北の震災復興と2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた旺盛なインフラ投資等に支えられて業績が回復する一方で、高齢化に伴う若年労働者をはじめとした担い手不足は一層深刻さを増しており、このような課題に対応するため、昨年6月に公共投資の基本となる公共工事の品質確保の促進に関する法律を中心に必要な改正がなされました。このように当社を取り巻く環境には少し明るい兆しが見えておりますが、当社や業界の課題を踏まえながら経営に当たる必要があると考えています。その中で、エネルギー問題の焦点は、原発ゼロという方向にあり、低炭素時代を目指して太陽光をはじめ風力や海底に眠る自然エネルギー資源の有効活用に傾いているように思われます。我々も現実的に電力不足に協力していく中で、徐々に環境関連数値は好転していくことを期待しています。その中で当社は、当社の規模と市場の地位にふさわしい経営環境システムを構築して8年間、統一した評価基準に基づき運用を続けてきました。この活動を通して最も重要なことは、当社の全従業員が日常的に地球環境への関心を抱いてくれることにあることは変わりません。そして、自然への畏れというものを思い続けてほしいと願っております。そのような認識の下で、ea21建設業向け2009年版ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づき、私たちに出来ることを目標高く持ち続け、それを達成できるよう対応しなければなりません。

6 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

関連関係法規への違反、訴訟はありません。
また合併以前、以降も関係当局からの過去3年間、違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	対象建設工事の届出、再資源化等の実施、報告、記録の作成	適正処理
建設機械に関する技術指針	排気ガス対策型建設機械の使用義務	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	適正処理
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	適正処理
甲賀市ルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
湖南市生活環境保全条例	油類等の流出防止	適正処理